

\*\*\*\*\*

H26後期

# 学校運営協議会だより

京都市立嵐山東小学校

〒616-0012

京都市西京区嵐山東海道町46

TEL:075-881-5120

FAX:075-881-5691

E-mail: arashiyamahigashi-s@edu.city.kyoto.jp

\*\*\*\*\*

3月12日(木)学校運営協議会が開かれ、学校長が後期の学校評価(保護者版)について説明した後、それをもとにフリートークを行い理事の方からたくさんのご意見をいただきました。

- \*今里校長が本校に赴任されてからこの2年間の功績はとても大きい。学校の立て直しにはもっと時間がかかると思っていたが、こんなに早く改善されたのには驚いている。
- \*学校評価を見てもほとんどの保護者の方が、おおむね好意的に評価していただいている。何よりアンケートの回答率が94.7%という数字が保護者の期待の表れである。
- \*美術教室をした次の日、地域のもちつき大会があったが、6年生の女の子が「昨日はありがとうございました。」とお礼を言ってくれた。今までこんなことはなかったので感激した。
- \*クラスが乱れるのは先生と子どもたちの相性もあるが、良い雰囲気为学校運営を継続してほしい。
- \*区民運動会のときに学校の話を書くことがあるが、落ち着いている雰囲気が感じられる。
- \*児童館でドッジボール大会の練習をするとき、自分たちで楽しむためのルールを創造的に作っている。
- \*PTA活動に積極的に参加したいと思っている人が多いことに気づいた。担任の先生方とPTAと交流する機会をもてれば嬉しい。
- \*6年生を送る会がとてもすてきで感動した。今のいい現状が凝縮されているように感じた。
- \*HPはとても充実している一方、各家庭のインターネット等の環境が整っていない現状もある。
- \*子どもが先生にため口をきくなど言葉づかいが乱暴に思えるが、学校ではどのように指導しているか。
- 目上の人に敬語を使うのは常識だが、あまり言い過ぎると息苦しくなる。バランスを取りながら上手に使い分けることができればいいが、指導する教師の感覚もいろいろである。確認作業をして学校の中で一定のコンセンサスを作ることが必要だ。
- \*丁寧なため口と高圧的なため口と両方あるが、丁寧な言葉づかいをする方が人間関係はうまくいく。
- \*言葉づかいはどういう場面で身につけるのか。「部活動の先輩・後輩の人間関係の中で」「武道の礼儀の中で」などさまざまだが、年齢が高くなるほど習得するのが難しくなる。
- \*昔はスポーツの指導者が厳しく教えてくれた。
- \*子どもは小さいときから大人の言葉づかいを聞いて育っている。子どもだからといって安易な話し方をするのではなく、気持ちを受け止めて丁寧に対応することが大切だと思う。
- \*言葉づかいは子どもの生き方に迫る関係をつくるのが大切。
- テレビやゲームの言葉が日常会話になって出てくる。子ども達は平気で人を傷つける言葉を発している。大人がいいモデルを示すことが大切。
- \*「地域の子どもは地域で育てる」と言われるが、今の子ども達が置かれている状況や直面している危険は、われわれの子どもの頃と全く違うという認識が必要。
- \*PTAと見守り隊の懇談会で情報交換した。高齢化とともに参加者の減少が今後の課題である。
- 子ども達が見守り隊の方への感謝の気持ちを表せない現状があるが、学校としては自分たちがいかに地域の方に大切にされているか、お世話になっているかということ伝えていくことが必要。
- \*大文字駅伝では西京東支部上位4校が本選でも上位4校になるという結果をみて、この支部のレベルの高さを感じた。本校も本選に出ることを一つの目標にがんばってもらいたい。
- \*本選に出るためには、指導者の熱意と子どものモチベーション、保護者や地域のサポート体制が必要。最初からあきらめているのではなく挑戦してほしい。努力したことが活かされることが大切。
- 学校では5年生が本格的に支部予選にむけて練習を開始した。今年の6年生がマラソンの練習を学級経営に生かして「あこがれられる6年生」につなげていくいい流れができているので継承していきたい。

教職員とも今回の学校運営協議会で話し合われた内容を共有し、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。そして学校・保護者・地域が一体となってよりよい嵐山東小学校を築いていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。